

ブランド名は “農家のパーティ”

「秋田市農業ブランド確立総合戦略」の始まりとして、4・5ページのステップを踏んで、まずはブランド名を「農家のパーティ」と名づけました。

ブランド名に込めた思い、また、実際にどんなことをするのかご紹介します。



これが「ブランド・コミュニケーション戦略」

秋田市農業ブランドを売り込んでいく際の道筋です。

◆秋田市の強みは、街と産地が近いこと

農家のみなさんは、街の人たちに、すぐに会って、すぐに話ができる、すぐに動ける。さまざまな課題をどんどん解決する最高の「チーム」がつけられるはず。

シェフ、料理研究家、蔵元、居酒屋、レストラン、スーパー、そしてみなさんと、多様な仲間とつながれば、さらにおいしくなる秋田市の農産物。まずは市民にブランドのファンを広げます。

◆農家と市民が語り合いながら実行していくブランド

農家と、農家をとりにまわくいろいろな人が集まって、それぞれの強みを活かし、語り合うことで課題を解決する活動が戦略のポイントです。

語り合う中からたくさんのプロジェクトが生まれ、秋田市の農産物を発信することでファンを増やしていきます。

今号表紙にもあるのがブランドの基本ロゴマーク。これからいろいろな場面でお目にかかります。

農家のパーティ

Creative Farmers Action in Akita City

パーティは、おもてなし、 出会い、語らいの場

農家とその仲間たちが集い、交流し、語り合う中から、アイデアを生み出していくという、秋田市農業ブランドの中心となる取り組みを「パーティ」という象徴的な単語で表現しています。

◆こんな想いを込めました◆

パーティはおもてなしであり、出会い、語らいの場です。農家のみなさんが、農家以外のかたと語り合い、協力していく場を実際につくることで新たなつながりを増やし、農業に関するさまざまな課題解決をめざそうという想いを込めました。

意味もあります。農家のみなさん同士、また、それ以外の人たちとも仲間意識を持つことで、ひとりではなく、みんなが当事者として課題に向き合う仕組みをつくりたいという願いも込めています。

「秋田市の農家のかたと話してみたい」「新しいプロジェクトをいっしょにやってみたい」「農業から秋田市を元気にしたい」。そんなみなさんの「パーティ」への参加をお待ちしています。

産業企画課 ☎(0000)57722

Eメール

farmers-party@city.akita.akita.jp

今年度 「農家のパーティー」の 名のもとに 次の事業を計画中！

詳しくは、産業企画課へお問い合わせください。☎(888)5722
ホームページ
<http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/mn/>

1 生産者と生産の現場に 光をあてる活動の推進

- 地域資源の魅力を発信することで、農業への関心を高めます。
- 農業体験交流(首都圏からの修学旅行生の受け入れなど)
- 援農ボランティア(左記に募集記事) ● 農家民泊

2 「農家のパーティー」を 通じた交流と連携の創出

- 市民を広く巻き込み、参加と共感の輪を広げていき、秋田市の農業をもっと支える仲間を増やします。
- 飲食店や小売店と農家との連携を促進
- 直売会など、農家と消費者の交流イベントを開催

3 「農家のパーティー」を 核とした情報発信

- ホームページや広報、テレビ・ラジオなどを通してPRを行い、市民へのブランドの周知を図ります。
- 「農家のパーティー」を魅力的なストーリーに仕立てたPR動画の制作
- 市内を中心に情報発信し、仙台圏・

4 店舗のネットワーク化と 地場産品の活用促進

- 首都圏への発信を検討
- JR秋田駅、秋田空港などへのポスターの掲出
- JAなどと連携し、枝豆やプレミアム米にブランドタグを付け、目印としての定着を図る
- 首都圏などでのPR
- 妊娠・出産時にダリアをプレゼントする「ありがとウのダリア」事業の促進
- 地産地消の店の発掘とネットワーク化
- プラントタグの普及と啓発
- レシピ開発や商品開発
- 旬の産品カレンダー作成
- プラントブックの活用など

これ以外にも、
市民参加型の事業などを
どんどん企画する予定です。
お楽しみに！

えんのう 援農ボランティア& 受入農家を募集！

人手不足に悩む農家を直接サポートする「援農ボランティア」を募集！ 農作業を通して、生産者と交流し、農業への理解を深めてみませんか？ 合わせて、受入農家も募集します。

なお、両者とも、事前説明会(5月末の予定)への出席が必須です。

援農ボランティア

作業日時▶6月から10月までの月1回。時間はおおよそ午前9時～午後4時 内容▶農作業全般(農機具を操作する作業以外) 定員▶50人(抽選)

*受入農家へは各自での移動、また、昼食は各自でご準備ください。

受入農家 募集数▶10農家程度(選考により決定)

申し込み・問い合わせ

5月8日(月)から22日(月)までに、電話またはEメールでお申し込みください。

産業企画課☎(888)5725

Eメール

ro-agmn@city.akita.akita.jp



加工研修室。農水産物を加工するさまざまな機器が揃っています。商品改良、新商品開発などの試作に、ぜひご利用ください

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ag/pc/>

園芸振興センターは、まさに秋田市農業ブランドの確立に欠かせない施設です。園芸作物の生産振興や担い手育成(研修の実施)、販売促進事業などのほか、6次産業化に取り組むかた向けの加工研修室の貸し出しなども行っています。興味のあるかたはホームページをご覧ください。

農業ブランドの確立に力！ 園芸振興センター



住所:仁井田字小中島111-1 ☎(838)0278